学校と家庭・地域を結ぶ学校通信２６号

しなやか

倉敷市立本荘小学校　　令和８年６月１５日



これからも、仲よくしていこう！

なかよし週間は終わったけれど…



なかよし週間中に、なかよしの木の取組がありました。友達のいい所やお礼を言いたいことなどが書かれてあり、心が温かくなりました。なかよし学級は、11日に「なかよし交流会」に行ってきました。他の学校の友達と自己紹介をし合ったり、一緒にゲームを楽しんだりしました。恥ずかしがることなく声をかけたり、相手の話をよく聞いたりすることができて、立派でした。



15、16日は、４年生が「山の学習」に出かけます。大変なことや難しいこともあるかもしれませんが、クラスみんなで力を合わせて、乗り越えて欲しいと思います。様々な体験をして、さらにたくましく、なかよくなって欲しいと願っています。

保護司の方から読み聞かせ（３年生）



12日の読み聞かせは、いつものボランティアさんの他に、保護司の方も来てくださいました。３年生に「コウ君の黄色い羽根」の紙芝居をしてくださいました。読み聞かせを終えた保護司のみなさんが、「３年生のあいさつや聞き方が素晴らしい。」「終わった後の感想も一人一人がよく考えていて、感心しました。」とほめてくださいました。「とてもいい学校ですね。」とほめていただいて、校長先生もうれしかったです。

玉結び・玉止めに挑戦！（５年生）



12日の１・２時間目に、５年生が家庭科の授業で玉結び・玉止めにチャレンジしました。裁縫セットを初めて使うので、みんなうきうきわくわくしていました。先生から説明を聞いて、さあ、挑戦。糸通しに苦労する子、うまくよりができない子、布から離れたところに玉止めができた子を家庭科ボランティアの方々が、優しくサポートしてくださいました。おかげで、みんな段々と上手にできるようになりました。感謝ですね。



